

森のおくりもの 8月



アブラゼミ (セミ科)



長かった梅雨もようやく明けて、ここ自然観察の森にも本格的な夏がやってきました。市内の小学校も夏休み期間中ということもあり、観察センター周辺には虫取り網を持った家族連れの様が多く見られるようになりました。

ご存じのとおり、自然観察の森では採集した虫の持ち帰りをご遠慮いただいています。採集して観察した後には元の場所に逃がしてあげてくださいというのが私たちからのお願いです。この森がこの先もずっと豊かであり続けるためにご協力いただけたらと思います。

【写真・文 近藤晋也】

森のことは

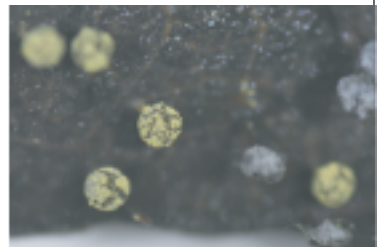
自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

『“禍福は糾える縄の如し (かふくはあざなえるなわのごとし)』

“明けない夜はない”といいますが、梅雨明けしない年があるので、ぐずついた天気が続いて心配しました。この梅雨らしい天候のおかげで、梅雨時期に多く出現する変形菌をたくさん観察することができ、イベントも実施することができました。変形菌はキノコのような子実体（しじつたい）を作り、胞子を飛散させて繁殖します。その子実体が美しかったり多様な形で魅力的なのですが、キノコムシやトビムシなどの小さな生物に食べられてしまいます。自然の摂理なのですが、食べられると残念に思ってしまいます。せっかく作った子実体が壊されるのは変形菌自身にとっても不運なことのようには思えますが、食べられることによって胞子が拡散されるため、実はいいことのように思えます。

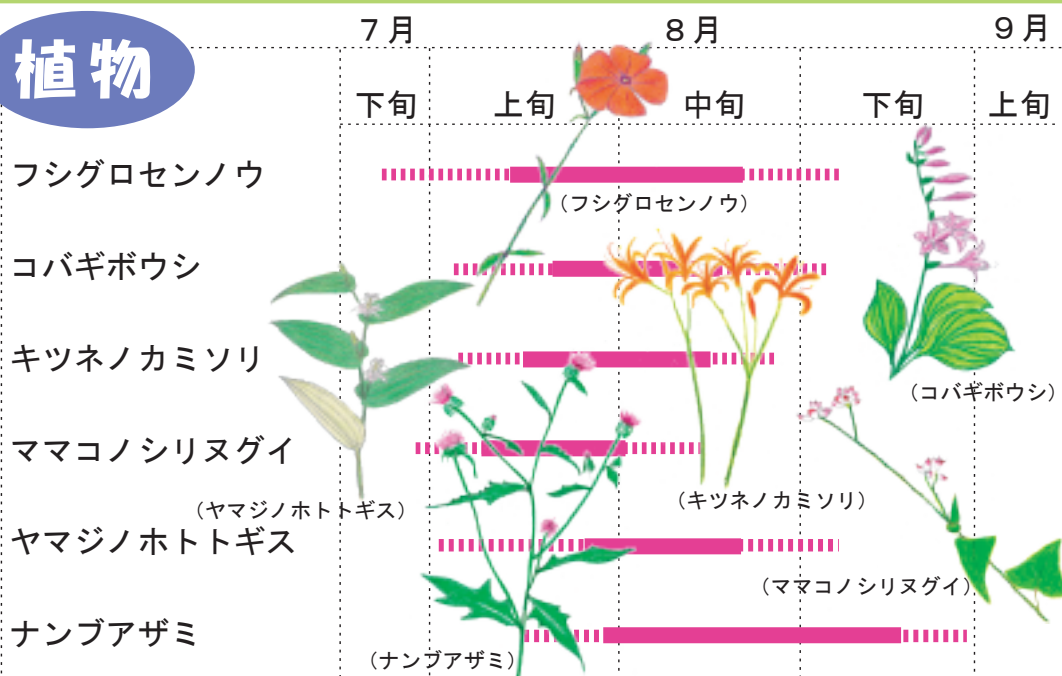
一見不運に思えても見方を変えれば幸運になるという意味を感じて、当てはまる言葉を探したら「禍福は糾える縄の如し」という故事成語がありました。より合わせた縄に人生をたとえ、「悪いことがあればいいこともある、幸福と不幸は表裏一体で変転するものだ」という意味です。

自然界の食う食われるの関係では、食べられてしまう方は命を落とすが、食べた方は命がつながる。それだけでなく、これらによって生態系のバランスが保たれるなどの作用があります。人生辛いことがあってもそれがずっと続くわけではないので、嫌なことがあってもいいこともあるよという教訓と共に、自然のしくみはよくできていると感じました。 【レンジャー：新田隆一】



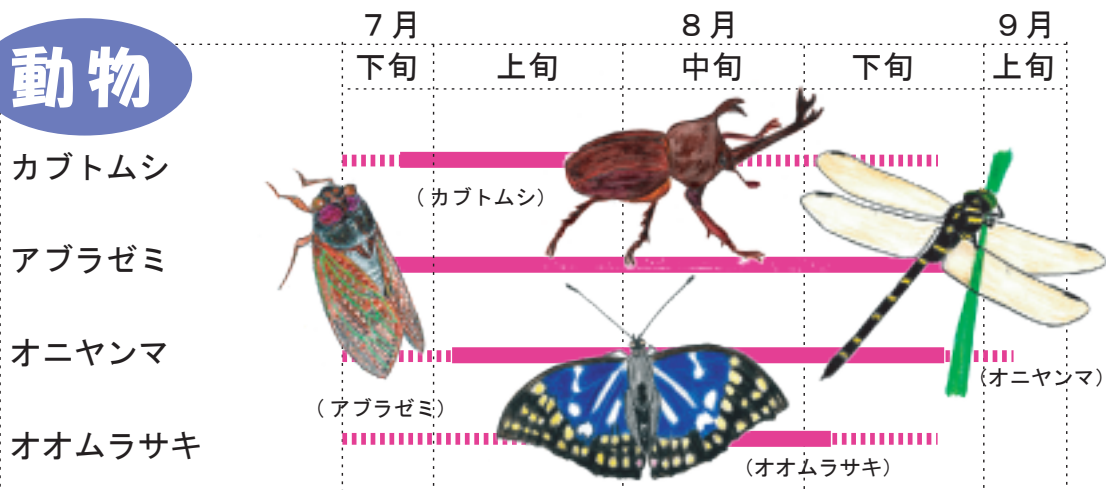
8月の生物ごよみ

植物



7月27日にイベント『わくわく夜の森探検!』を開催しました。天気に恵まれ、たくさんの参加者に来ていただきました。夜7時、すぐに駐車場に移動してコウモリの観察からスタート。数は少なかったですがバットディテクターを使いコウモリが出す超音波を聞くことが出来ました。その後森は暗くなり樹液に集まる昆虫たちやセミの羽化などを観察。今年はまだゲンジボタルが飛んでいて、思わぬ出現者に参加者から歓声が上がりました。夜の観察会は8月17日にも開催しますので是非お越しください。

動物



【レンジャー：齋 正宏】



館長の夜の太白探検 下見編



太白山自然観察の森では、夏休みの期間に「わくわく夜の森たんけん」という親子を対象としたイベントを開催しています。このイベントは夜の森を歩きながら、日中では見ることのできない生き物の活動を観察するというガイドウォークです。

実施にあたっては、事前にスタッフによる下見を行うのですが、これが本当に面白いんです！今回はその様子を皆様にお知らせいたします。イベントのオープニングとなる場所は日暮れ前の駐車場。上空を見上げるとたくさんのアブラコウモリが飛び交っている様子を観察することが出来ました。アブラコウモリは家屋をすみかとするため、「イエコウモリ」という別名があるなど、私たちにとっては身近なコウモリといえるでしょう。



コウモリの観察が終わり、日没後はいよいよ森の中に入ります。この時期、森を歩くといたるところにヒグラシなどのセミの抜け殻を目にしますが、夜の森では実際にセミが羽化しているシーンをライブで楽しむことが出来ました。



セミは一生のうちのほとんどを土の中で過ごします。彼らが初めて見る地上の光景は一体どのように見えているのでしょうか？いきなり私たちにライトを照らされて驚いているかもしれませんね。

見どころはまだまだたくさんあります。夏の人気者といえばカブトムシやクワガタなどの甲虫類。樹液に集まる様々な昆虫たちなど、まさにこの時期ならではの瞬間に立ち会うことが出来て大満足でした！



しかし、この日私が一番嬉しかったことは、下見が終わった帰り道です。



運転する車の前に4頭のイノシシが現れたのです！急に車が来て怯えているのでしょうか？一カ所に固まって逃げる様子もなかったので、ゆっくりと観察することが出来ました。

その後、4頭のイノシシたちは夜の森に消えていきました。
【館長：近藤晋也】

館長の 猫背の太白 sanpo

植物に関することですと前から気になっていること、疑問に感じていることが私には沢山あります。

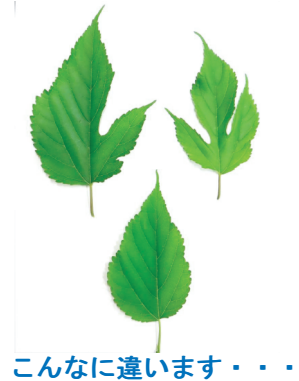
例えば・・・クワは一本の木から全然形が違う葉が出るのは何故なのか？といったような類の素朴な疑問です。

※クワのように一つの個体に形や大きさの異なる普通葉が生じることを「異形葉性（いけいようせい）」といいます但其の理由は解明されていません。

このように、自然界にはまだまだ解明されていないことが数多くあり、なんとも悩ましいところです。

疑問を感じるたびに調べてはみるものの、納得できる説明にはたどり着くことが出来ません。

ある時、何気なくインターネットで調べ物をしているときに、「なるほど、そうだよね」と納得する一文に出会えました。それは・・・



こんなに違います・・・

「すべての事象に理由があるとは限らない」だそうです。

今回のトピック

飛べない翼

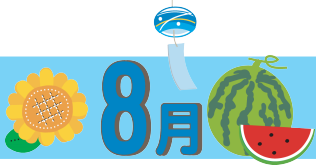
「ニシキギ」と言えばその紅葉の美しさで昔から日本人に親しまれている樹木です。この植物のもう一つの大きな特徴は若枝にコルク質の翼（よく）と呼ばれる板状の羽が生じることです。ニシキギの若枝をルーペで見ると形成層を破って翼の部分が出始めているのがよく分かります。



この翼の役割については、「枝が折れないように補強しているのでは？」とか「放熱板の役割があるのではないか？」など諸説入り乱れていますが、前述したクワの葉と同様に解明されていません。

多くの植物は長い年月をかけてその環境に適応するために姿かたち等を変化させてきました。ひょっとしたらニシキギもいまだ進化の途中であり、私たちがその本来の役割を知ることが出来るのはずっと先のことなのかもしれません。

【館長：近藤晋也】



8月のイベント&お知らせ

◆「虫のいどころ」

8月17日(土)10:00～11:30

・昆虫の専門家と共に、真夏の自然観察の森で虫のいどころを探ります。

【定員】20名

【持ち物】雨具(カッパ)、飲み物など

【申込み】8月6日(火)午前9時から電話で受付〔先着順〕

◆「わくわく夜の森探検!!」

8月17日(土)19:00～20:30

・夜の自然観察の森を探検します。

【定員】20名

【持ち物】懐中電灯・雨具(カッパ)、飲み物など

【申込み】8月7日(火)午前9時から電話で受付〔先着順〕

◆「キッズ昆虫たんけん隊」

8月24日(土)10:00～12:00

・虫とりをしながら夏の森を探検します。

【定員】15名(小学生)【持ち物】雨具(カッパ)・飲み物など

【申込み】8月8日(木)午前9時から電話で受付〔先着順〕

◆「虫とあそぼう in 七北田」

8月31日(土)13:00～16:00

・とった虫をかやに放してあそびます。【会場】泉区七北田公園(泉区民祭り会場)

毎週
日曜は

「ガイドウォーク」の日!

8月の開催日は4日、11日、
18日、25日です。

開催時間:10:00～11:30
13:30～15:00

◎25日の午前は、自然観察センター館長がご案内します。
申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

「森のちいさなアトリエ」は
「KATASUMIギャラリー」
として
リニューアルオープン




ヤマツツジの丘
からヨシの湿地へ
の観察路は8月中
旬ごろ開通予定で
す。

8月の休館日

5日、13日、19日、
26日



宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
- ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
- ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分

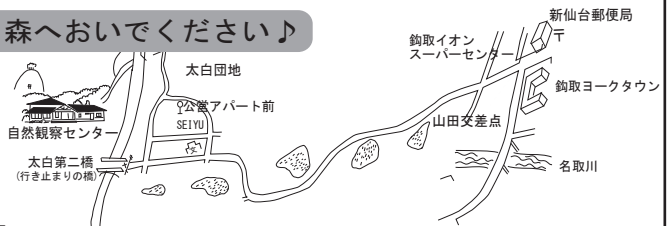
【行先】①②③ 「太白団地經由山田自由ヶ丘庫行」乗車
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由山台南ニュータウン行」)
いずれも 公営アパート前 下車 → 徒歩15分



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで!

「杜のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2019年8月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133